



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月9日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東
コード番号 7228 URL <https://corporate.daytona.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 哲司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 杉村 靖彦 (TEL) 0538 (84) 2200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	3,356	12.7	337	38.7	331	35.0	225	30.4
2024年12月期第1四半期	2,979	△6.1	243	△29.0	245	△18.8	173	△16.3

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 211百万円(10.5%) 2024年12月期第1四半期 191百万円(△9.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第1四半期	95	08	91	00
2024年12月期第1四半期	73	08	69	93

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2025年12月期第1四半期	11,089		8,512		75.8	
2024年12月期	10,931		8,632		78.0	

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 8,409百万円 2024年12月期 8,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 129.00	円 銭 129.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		0.00	—	135.00	135.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,207	5.4	738	△4.0	757	△4.8	518	△6.4	218.40
通期	14,858	1.9	1,610	△6.1	1,640	△5.9	1,103	△8.7	464.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	3,604,600株	2024年12月期	3,604,600株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	1,230,210株	2024年12月期	1,230,210株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期 1 Q	2,374,390株	2024年12月期 1 Q	2,368,630株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進む中で、雇用・所得環境の改善のもと、企業業績は総じて回復傾向で推移しました。一方で、為替相場の変動、不安定な国際情勢、エネルギー価格及び原材料価格の高止まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

二輪車業界では、本格的シーズンインを前に東京、大阪、名古屋においてモーターサイクルショーが開催され、各車両メーカーの新車展示や部品用品メーカーの多数出展もあり、会場は活況を呈しておりました。

このような状況のもと、当社グループでは中期経営方針として「変革と成長」を掲げ、支持率No.1ブランドの獲得に向けて、主に新商品開発及び既存品のリニューアル開発に注力してまいりました。

販売面では、小売事業における来店客数の減少などから環境変化に伴う消費抑制等が懸念されましたが、国内拠点卸売事業並びにアジア拠点卸売事業が好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は33億56百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業利益は3億37百万円（前年同四半期比38.7%増）、経常利益は3億31百万円（前年同四半期比35.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億25百万円（前年同四半期比30.4%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業は、高価格帯商品の売れ行き鈍化、為替相場の円安等による仕入れコスト増などの厳しい市場環境にありましたが、普及価格帯のライディングウェアやライディングシューズ、およびバッテリーなどの補修消耗品、並びにアウトドア用品の販売が好調に推移しました。また今期は前年同四半期に見られた流通各社の大きな在庫調整もなく、広告宣伝費も抑制できたため、売上・利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は22億78百万円（前年同四半期比14.8%増）、セグメント利益は1億38百万円（前年同四半期比76.8%増）となりました。

[アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業におけるインドネシア子会社では、好調な販売が継続しており、既存品に加え新商品のキャストホイールなども販売増に貢献しております。引き続き販路拡大と、新商品投入を進め、現地でのデイトナブランドの認知度拡大と共にさらなる成長を目指します。

昨年2月に設立したフィリピン子会社では、設立以降実施していた人材確保、マーケティング活動等を経て、今年から本格的に営業活動を開始しております。まずは販路を持つ大手ディストリビューターとの取引からスタートし、市場へのデイトナ商品の供給とブランド認知を進めることで存在感を高め、徐々に商品ラインアップの追加、販路開拓を進める予定です。

この結果、売上高は5億26百万円（前年同四半期比32.5%増）、セグメント利益は1億46百万円（前年同四半期比27.3%増）となりました。

[小売事業]

小売事業においては、コロナ後の趣味の分散、社会・経済活動の正常化により消費活動の選択肢が増え、来店客数の減少傾向が続くとともに、物価高騰の影響による高価格帯商品の販売鈍化も続いております。一方で、車検や修理、タイヤ交換などのPITサービスへのニーズが高まっており、リアル店舗ならではの付加価値の提供に取り組んでおります。

この結果、売上高は4億94百万円（前年同四半期比6.3%減）、セグメント利益は29百万円（前年同四半期比41.1%増）となりました。

[その他]

その他事業の太陽光発電事業では、売電収入は安定的に推移し、売上高、利益ともに前年同四半期を上回りました。

リース販売事業では、収益重視の販売方法へ転換を進めた結果、売上高は前年同四半期を下回りましたが、利益率が大きく向上し、仕入れリソース開拓の人員増強も行っておりますが、利益面では前年同四半期に対し

て増益となりました。

この結果、その他事業全体の売上高は80百万円（前年同四半期比11.7%減）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（流動資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1.7%増加し、85億78百万円となりました。これは、現金及び預金が2億84百万円、受取手形及び売掛金が1億10百万円減少しましたが、棚卸資産が4億93百万円増加したことなどによります。

（固定資産）

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.6%増加し、25億10百万円となりました。これは、投資その他の資産が16百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億57百万円増加し、110億89百万円となりました。

（流動負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ15.5%増加し、23億20百万円となりました。これは、買掛金が2億75百万円増加したことなどによります。

（固定負債）

固定負債は、前連結会計年度末に比べ11.4%減少し、2億56百万円となりました。これは、長期借入金が44百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億77百万円増加し、25億76百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1.4%減少し、85億12百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月14日付の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については現時点での変更はありません。

当社グループにおいては、当第1四半期は「1.（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況」に記載のとおり、国内拠点卸売事業は前年同四半期に対して増収増益の進捗となり予想に対してもやや上振れの推移となっております。

アジア拠点卸売事業においては、インドネシア国内景気はルピア安や物価高等により景況感が低下しておりますが、当社グループ子会社においては補修消耗品を中心とした必需品や価格設定、ブランドなどお客様に支持されており、引き続き好調な状況が続くと見込んでおります。

小売事業においては、来店客数が減少傾向にありますが、車検や修理などのPITサービスのニーズが高まっており、リアル店舗にしか対応できない付加価値の提供に継続して取り組んでおります。

なお、現段階において、為替相場の変動、米国関税措置の動向、不安定な国際情勢、ユーザーの消費動向、天候など環境変化の不確実な要素も多く先行きが見通しにくい状況ですので、今後の状況変化により、業績への大きな影響が推測される場合には業績予想を修正してお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,340,020	2,055,541
受取手形及び売掛金	1,619,229	1,508,842
棚卸資産	3,860,612	4,354,239
その他	628,982	672,176
貸倒引当金	△12,360	△11,892
流動資産合計	8,436,484	8,578,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	464,724	455,266
土地	980,547	979,788
その他（純額）	323,489	326,309
有形固定資産合計	1,768,762	1,761,364
無形固定資産		
のれん	195,161	178,898
その他	98,493	121,423
無形固定資産合計	293,654	300,321
投資その他の資産		
その他	436,102	452,105
貸倒引当金	△3,445	△3,445
投資その他の資産合計	432,656	448,659
固定資産合計	2,495,074	2,510,346
資産合計	10,931,558	11,089,253
負債の部		
流動負債		
買掛金	387,984	663,282
短期借入金	600,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	189,142	184,141
未払法人税等	235,251	174,432
賞与引当金	71,349	109,429
株主優待引当金	21,575	9,227
その他	503,996	529,632
流動負債合計	2,009,299	2,320,145
固定負債		
長期借入金	252,474	207,684
退職給付に係る負債	8,949	11,677
その他	28,160	37,073
固定負債合計	289,583	256,435
負債合計	2,298,883	2,576,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	542,515	542,515
利益剰余金	8,181,527	8,101,011
自己株式	△614,110	△614,110
株主資本合計	8,522,388	8,441,871
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,766	△37,540
退職給付に係る調整累計額	5,730	5,078
その他の包括利益累計額合計	8,497	△32,461
新株予約権	73,956	73,956
非支配株主持分	27,834	29,307
純資産合計	8,632,675	8,512,673
負債純資産合計	10,931,558	11,089,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,979,379	3,356,781
売上原価	1,807,575	2,065,224
売上総利益	1,171,803	1,291,557
販売費及び一般管理費	928,255	953,690
営業利益	243,547	337,866
営業外収益		
受取手数料	2,274	1,585
試作品等売却代	1,819	546
その他	2,770	4,494
営業外収益合計	6,865	6,626
営業外費用		
支払利息	1,885	1,903
デリバティブ評価損	577	-
為替差損	2,223	10,784
その他	42	14
営業外費用合計	4,728	12,702
経常利益	245,684	331,790
特別利益		
固定資産売却益	832	4,356
特別利益合計	832	4,356
税金等調整前四半期純利益	246,517	336,146
法人税、住民税及び事業税	85,748	128,615
法人税等調整額	△13,035	△19,951
法人税等合計	72,713	108,664
四半期純利益	173,804	227,482
非支配株主に帰属する四半期純利益	696	1,702
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,108	225,779

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	173,804	227,482
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	17,244	△15,918
退職給付に係る調整額	-	△409
その他の包括利益合計	17,244	△16,327
四半期包括利益	191,049	211,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,279	209,486
非支配株主に係る四半期包括利益	769	1,667

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠 点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,962,729	397,768	527,800	2,888,297	91,081	2,979,379	—	2,979,379
外部顧客への売上高	1,962,729	397,768	527,800	2,888,297	91,081	2,979,379	—	2,979,379
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,003	—	—	22,003	—	22,003	△22,003	—
計	1,984,732	397,768	527,800	2,910,300	91,081	3,001,382	△22,003	2,979,379
セグメント利益	78,555	115,409	20,823	214,788	12,645	227,434	16,113	243,547

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2. セグメント利益の調整額16,113千円には、セグメント間取引消去8,263千円、棚卸資産調整額7,714千円、固定資産調整額135千円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠 点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じ る収益	2,254,775	526,982	494,583	3,276,340	80,441	3,356,781	—	3,356,781
外部顧客への売上高	2,254,775	526,982	494,583	3,276,340	80,441	3,356,781	—	3,356,781
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,080	—	—	24,080	—	24,080	△24,080	—
計	2,278,855	526,982	494,583	3,300,420	80,441	3,380,861	△24,080	3,356,781
セグメント利益	138,880	146,858	29,372	315,111	13,941	329,053	8,813	337,866

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2. セグメント利益の調整額8,813千円には、セグメント間取引消去8,664千円、棚卸資産調整額23千円、固定資産調整額126千円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	37,263千円	39,980千円
のれんの償却額	16,263千円	16,263千円